

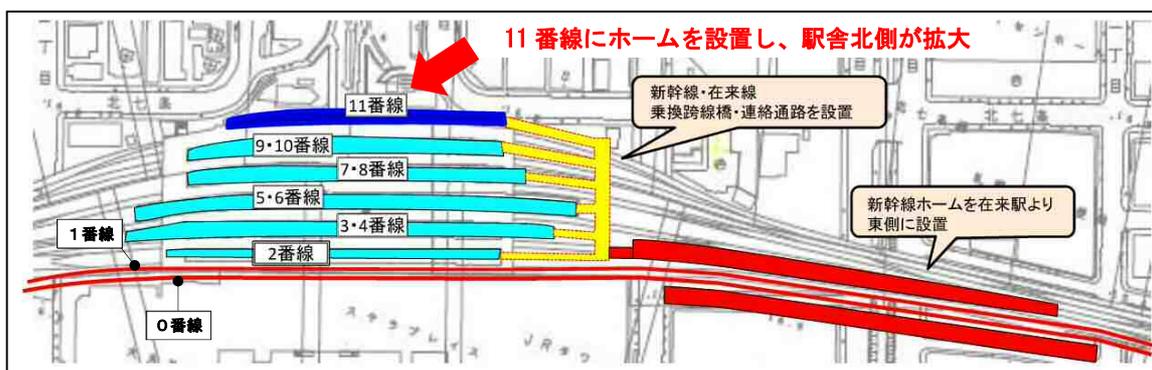
□ JR札幌駅関連について



1 都市計画変更の経緯及び理由

北海道新幹線の札幌開業にあたり、JR札幌駅の在来線1番線と新設予定の0番線に新幹線が乗り入れるため在来線1線分が減少する。在来線の機能補償として、現在ホームのない11番線に新たにホームを設置するため、札幌駅の駅舎北側の拡大が必要となる。駅舎北側の拡大により、これと接する札幌駅北口駅前広場の通路の幅員が減少するが、通路利用者数に対して必要な幅員は確保される。

このことから、下記2に示すとおり、都市高速鉄道である北海道旅客鉄道株式会社函館線の都市計画を変更するとともに、区域界が接する都市計画道路・北8条通の一部である札幌駅北口駅前広場及び高度利用地区（札幌駅北口地区第一地区）についても都市計画を変更する。

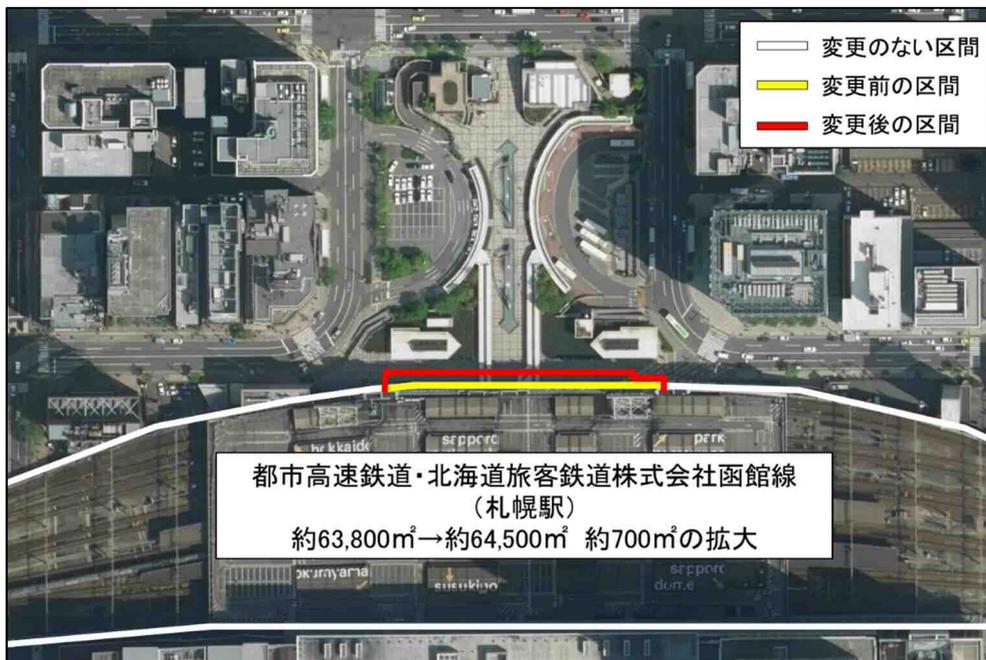


2 都市計画変更の内容

(1) 都市高速鉄道の変更

J R札幌駅の駅舎北側の拡大に伴い、札幌圏都市計画都市高速鉄道に位置付けている北海道旅客鉄道株式会社函館線の区域の変更を行う。

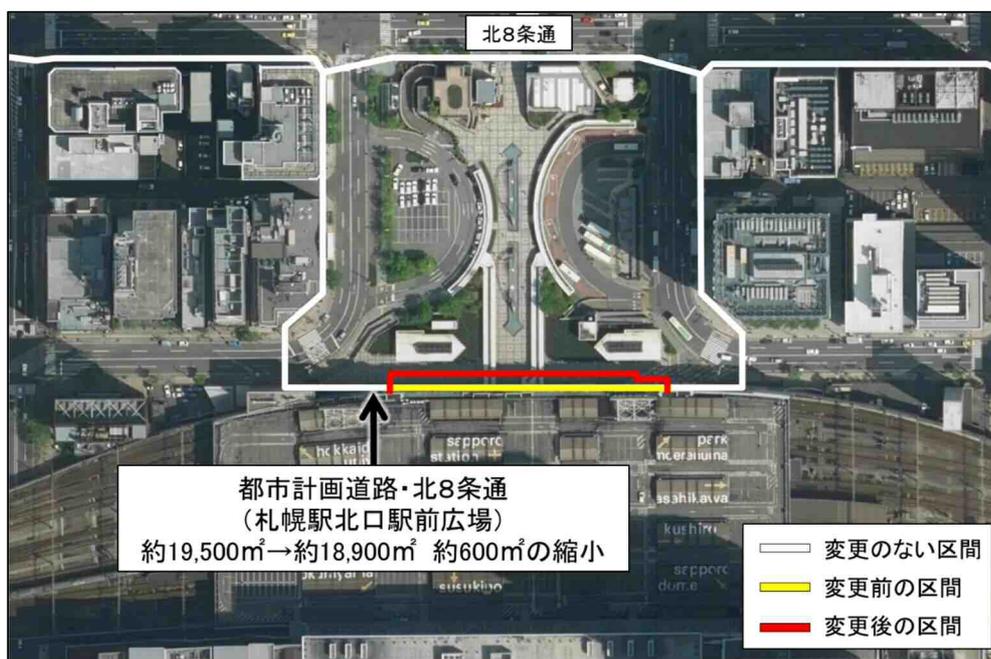
(変更前) 約 63,800 m² → (変更後) 約 64,500 m² (約 700 m²増)



(2) 都市計画道路の変更

J R札幌駅の駅舎北側の拡大に伴い、都市計画道路・北8条通に位置付けている札幌駅北口駅前広場の区域の変更を行う。

(変更前) 約 19,500 m² → (変更後) 約 18,900 m² (約 600 m²減)



(3) 高度利用地区の変更

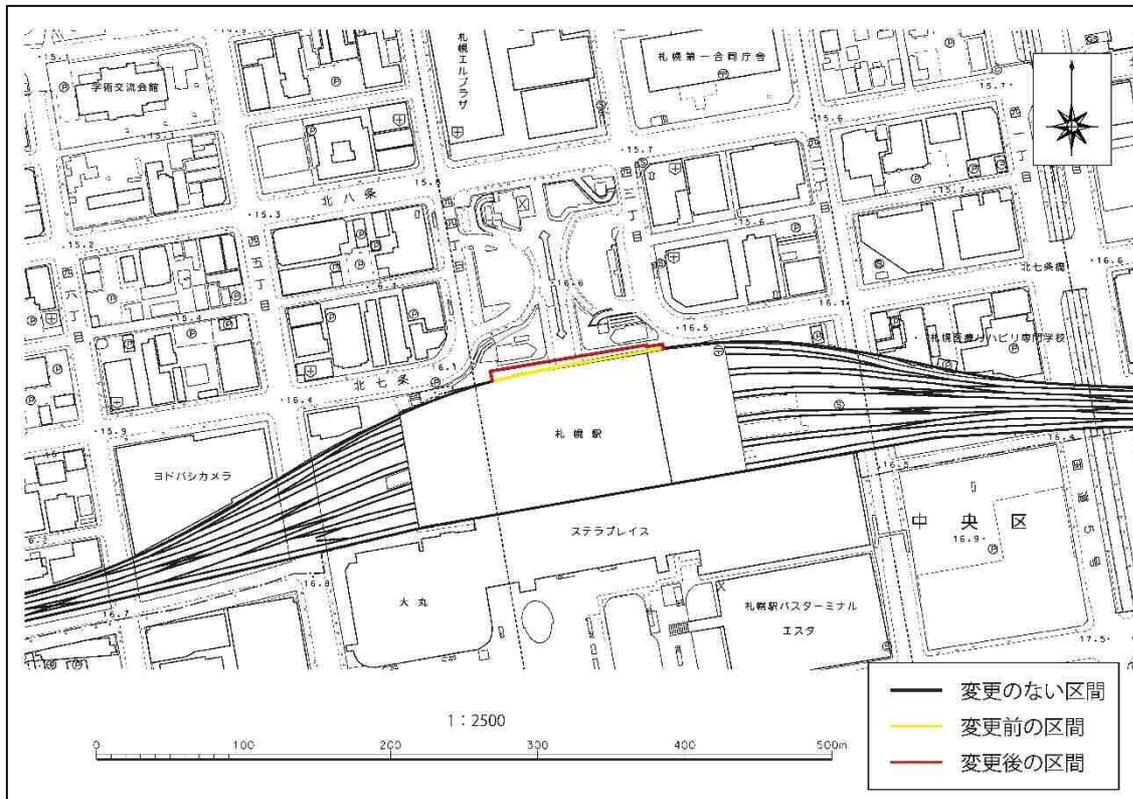
札幌駅北口地区第一地区の区域の南側境界を都市高速鉄道の高架北側線に定めていることから、都市高速鉄道の区域の変更にあわせて高度利用地区の区域を変更する。

(変更前) 約 14.7ha → (変更後) 約 14.6ha (約 0.1ha 減)



3 都市計画変更計画図

(1) 都市高速鉄道



(2) 都市計画道路

